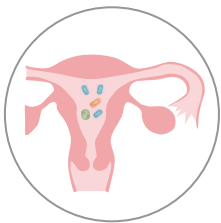


# 子宮内フローラで 不妊の原因を探る

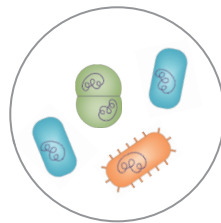


## 子宮内フローラ検査の流れ

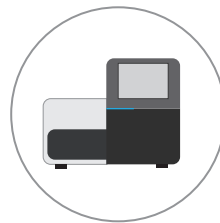
従来の細菌検査では、難培養性の菌や微量の菌を把握することは難しく、子宮内の細菌叢を網羅的に理解することは困難でした。次世代シーケンサーは一度に大量の DNA 配列を解読することで、試料に含まれる全ての細菌の DNA 配列を解読し、網羅的な菌コミュニティを調べることができます。



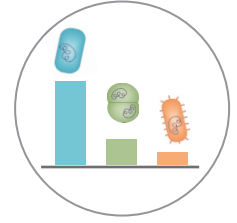
子宮内あるいは膣内から試料を採取し、弊社ラボラトリーに送付



試料より DNA を抽出し細菌の 16S rRNA 遺伝子領域のみを増幅

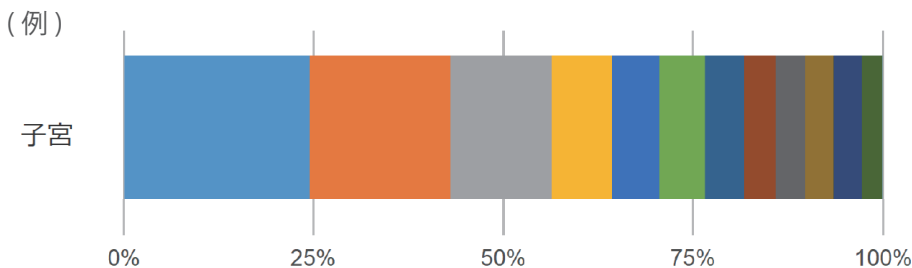


次世代シーケンサーを用いて、DNA 配列を解読



菌特有の配列とその数から存在量を推定しレポートとして返却

## 菌ごとの存在比率をわかりやすくレポート



菌名 <sup>*3</sup>	子宮 (メジロビット)
1 Lactobacillus	24.5%
2 * Gardnerella	18.5%
3 Megasphaera	13.4%
4 * Prevotella	7.9%
5 Actinomyces	6.2%
6 Enterococcus	6.1%
7 * Atopobium	5.1%
8 Mycoplasma	4.2%
9 Dialister	3.9%
10 Sneathia	3.7%
11 Crostridium	3.7%
12 * Ureaplasma	2.7%
13 Others	0.1%